

詩人・作家 **伊藤 比呂美氏** 講演会

「子育てから介護まで

人生万事 OK」

恋愛・結婚・子育て・離婚・海外移住・介護・看取り…修羅場も含めたさまざまな経験と人との出会いから生まれた
“自分らしい生き方”と前向きで痛切な言葉の数々。笑って元気になれる比呂美ワールドにぜひお越しください。

日 時：2013年1月19日（土）

13：30 開場 14：00 開演

場 所：エスプラッツ 3F ホール

参加費：1000円

（予約、チケット等のお問い合わせはピピンまで）



Photo 北森 芳徳 氏

※ 講演終了後、サイン会を行います。

プロフィール

1955年東京生まれ。現在、カリフォルニア在住。

1978年『草木の空』で詩人としてデビューし、第16回現代詩手帖賞を受賞。「女性詩」ブームの牽引役の一人として活躍。また、自らの妊娠、出産、育児体験を綴ったエッセイ『良いおっぱい悪いおっぱい』（1985年）が妊娠・子育て中の女性を中心に大きな反響を呼ぶ。1990年代には小説を手がけ、1999年に発表された『ラニーニャ』で第21回野間文芸新人賞受賞。2005年には再び詩作に復帰し、近年は詩とも散文ともつかない独自の文体によって綴られた作品や、仏教経典や和讃などを題材にした作品を発表している。近年の主な著作に『河原荒草』（2006年 / 第36回高見順賞）、『とげ抜き新巢鴨地蔵縁起』（2007年 / 第15回萩原朔太郎賞、第18回紫式部文学賞）、『読み解き「般若心経」』（2010年）など、説教節と現代史を融合した独自の語り物の世界を確立する。身体と声、自らの生活体験をテーマに、詩、小説、エッセイ、翻訳の分野を超えて自在に表現している。また、西日本新聞で13年間にわたり人生相談「比呂美の万事OK」を連載している他、2011年より『婦人公論』（中央公論新社）で連載「漢である」がスタートした。

著書

伊藤比呂美詩集（思潮社）、知死期時 近松と馬琴と南北と（朝日出版社）、良いおっぱい悪いおっぱい（集英社文庫）、おなかほっぺおしり（集英社文庫）主婦の恩返し（1990年12月、作品社）、家族アート（1992年7月、岩波書店）、コドモより親が大事（集英社文庫）、居場所がない！（朝日文庫）、ビリー・ジョーの大地（理論社 翻訳）、キャット・イン・ザ・ハット（河出書房新社 翻訳）伊藤ふきげん製作所（新潮文庫）、人生相談万事OK！（2008年6月、ちくま文庫）、おめめとじてね（福音館書店）、なっちゃんのはな（福音館書店）、11の声（理論社 翻訳）、日本ノ霊異ナ話（朝日文庫）レッツ・スピーク・English（岩波書店）、ミドリノオバサン（2005年11月、筑摩書房）、河原荒草（思潮社）、コヨーテ・ソング（スイッチパブリッシング）、とげ抜き 新巢鴨地蔵縁起（講談社文庫）、ふしぎのたね（福音館書店 翻訳）、女の絶望（光文社文庫）、読み解き「般若心経」（朝日新聞出版）、続・伊藤比呂美詩集（思潮社）、たどたどしく声に出して読む歎異抄（ふねうま舎）、人生相談 比呂美の万事OK（2012年5月、西日本新聞社）、たぬき（福音館書店 [ちいさながかくのとも通巻126号]）、あのごろ、先生がいた（2012年9月、理論社）他多数

後援：佐賀市教育委員会

主催 特定非営利活動法人 **子どもの本屋ピピン**

佐賀市呉服元町7-13 TEL:0952-27-8846

Email:pippin@po.bunbun.ne.jp